

# 展示会初日のイベントも広く関心が寄せられ、次回の開催を望む声が多かった

## 禅と工芸と暮らしの文化実行委員会

### 活動の目的

心豊かな暮らしの文化を禅寺である護国山曹源禅寺が所在する円山地区から発信し、県内外の方にも曹源禅寺の素晴らしさ、原田ご老師様がお広めされている禅の教えを知っていただく。また、お寺から広まったといわれる漆器を曹源禅寺の空間に展示し、魅力を伝える。そして工芸文化のさらなる発展に貢献することを目的とする。

### 活動の内容及び経過

本展では、彫刻家 榎本勝彦氏（岡山）、塗師 赤木明登氏（石川）、木漆芸家 新宮州三氏（京都）の三人展を岡山藩主池田家の菩提寺である護国山曹源禅寺を第一会場とし、徒歩で移動可能なgallery円山ステッチを第二会場として開催した。初日の11月23日には、本堂にて、ご住職の原田正道ご老師様と赤木氏による「禅と工芸」をテーマにした対談を定員50名で実施。（無料）また、同日には紅葉が美しい庭園を臨む書院にて輪島の家具膳を使用した「精進料理の会」を日本料理店のBricoleによる料理を提供し、定員20名で行った。両イベント共、コロナ禍での対策として、インターネットからの事前予約制とした。受付開始と同時に、広く関心が寄せられた。展示会には、会期を通して県内外から多くの方々円山の土地を訪ねてくれた。さらに、未来へつなげていく目的として、近隣の保育園に呼びかけたところ、全クラスの園児さんが会場を訪れ、子ども達へ漆器の魅力を伝えることができた。

### 活動の成果・効果

「コロナ禍で今年は県外へ旅行も行きづらく、初めて曹源禅寺に来ることができた。年老いた母と紅葉が美しい境内と展示会を見ることができた。」と喜ばれた。また、展示はお寺のもつ落ち着いた雰囲気と合い、美しい空間になった。漆器の魅力を伝えられ、「日々の暮らしの中に、工芸品のある暮らしを」と提案することが微力ながらできたのではないかなと思う。

来訪者は県内をはじめ円山地区からの参加、また県外からの参加があり、年齢層も2才から98才までと大変幅広い方に知っていただいた。来場者数は第一展示会場370名、第二展示会場200名だった。また、チラシ、ポスター、DMハガキの効果が大きかった。

### 今後の課題と問題点

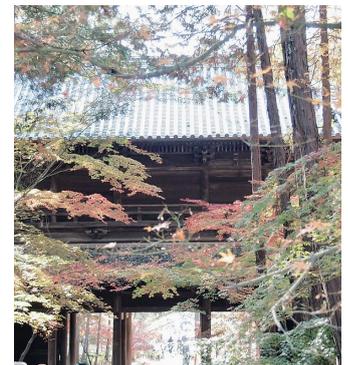
- ・作品の展示会場を一時的に会食会場に変更したため、展示会観覧時間に初日のみ制限があった。今後、会食イベントを計画する場合は展示スペースを拡大することも視野に入れる必要がある。
- ・事前告知は以下のように準備したが、次回はさらなる準備



書院にて作品展示



書院にて会食風景



会期中は紅葉が見頃でした



本堂にて「禅と工芸」をテーマにした対談

備をするために人材や資金を確保する必要がある。

- 1 特設サイト ホームページ
- 2 Facebook ページ
- 3 共催のgallery円山ステッチホームページ
- 4 動画作成
- 5 大判ハガキDM
- 6 A4 チラシ
- 7 A2 ポスター

- 代表者：佐野明子 ●所在地：岡山市中区円山
- TEL：086-897-6574 ●E-MAIL：maruyama8341@yahoo.co.jp
- URL：https://zentokogei.wixsite.com/website
- 設立年：2019年 ●メンバー数：10名